

# 箱田支部「ふれあい会」だより

笠間市 社会福祉協議会 箱田支部会長 大月 弘之 電話 72-6168

日頃より社会福祉協議会箱田支部の運営につきまして、皆様方には格別のご協力をいただき厚く感謝申し上げます。さて、少子高齢化が進む中、自治体はもとより地域にお住まいの方々の「つながり・支え合い」がより大切であると感じております。社協箱田支部として、地域住民が安心して過ごせる住み良い地域づくりができるよう、事業運営に努めたいと思っております。今後とも、皆様のご支援ご協力をお願いいたします。

## 令和7年度 社協箱田支部ふれあい会事業及び地域交流センターはこだ自主サークル等活動・紹介(一部)

### 社協箱田支部「ふれあい会」 主催事業

#### ○令和7年度 ふれあい配食サービス

社協箱田支部「ふれあい会」では、例年、旧箱田小学校学区内の75歳以上のひとり暮らしの方々へ、お弁当の配食を実施しております。今年度は、12月20日に箱田地区ひめはるボランティア6名の皆さんが、朝早くから「地域交流センターはこだ」に集合し、調理に取りかかり、手際よく美味しいお弁当が次々と出来上がっていききました。最後に容器に盛り付けられ、心のこもった美味しいお弁当が出来上がりました。



ひめはるボランティアの皆さんです。

美味しいお弁当ができあり。

お弁当は、地域ごとに、民生委員さんやボランティアの方が安否確認も兼ね、35名の方の自宅にお届けしました。

皆さん大喜びでした！

### 笠間地区支部社協運営委員会交流研修会(県内研修)

12月11日に笠間地区支部社協運営委員会事業として、日立市の「日立オリジンパーク」を視察しました。日立オリジンパークの「小平記念館」には、日立創業者の小平浪平が掲げた企業理念の「優れた自主技術、製品の開発を通じて社会に貢献する」や日立創業の精神を、世界中の人々と社会課題を解決してきた事例が紹介されています。館内は、「創業者小平浪平、その志」「社会課題解決への挑戦」「これからの社会課題とともに」「挑戦への歴史をたどる」の4つのパートに分かれています。



また、「創業小屋」には、創業製品の5馬力モーターが実際に動く様子や当時を再現した工具等の展示を通じて、創業時の苦労や息吹を追体験することができました。

### 第45回芸能発表会(社協箱田支部「ふれあい会」協賛)

笠間地区地域交流センター連絡協議会が主催する第45回芸能発表会が令和8年2月22日に笠間公民館で開催され、日頃、地域交流センターなどを拠点として自主活動している23組が出演しました。なお、箱田地区からは4組の方々に参加されました。当日は、ギター弾き語り、カラオケ、太極拳、三味線、日本舞踊、謡曲など、様々なジャンルの発表があり、最初から最後まで目が離せないパフォーマンスを見せて下さり、大いに盛り上りました。皆さんも次年度、奮ってご参加下さい。



第2回 箱田・片庭・大郷戸名所めぐりハイキング

生活支援体制整備事業「友びきの会」主催・社協箱田支部(ふれあい会)共催

私たちの住んでいる地域(旧箱田小学校学区内)には、たくさんの歴史や文化がありますが、接する機会があまりなく、知られていないのが現状です。「友びきの会」では、その歴史・文化を知る「箱田・片庭・大郷戸名所めぐりハイキング」を11月8日に開催し、小学生を含む34名の方が参加されました。ハイキングは、古山地区自治会集落センターを出発し、笠間の民話に登場する「七つ井戸」へ、農道を歩き楞厳寺の山門を通り、笠間氏菩提寺の「楞厳寺」を巡り、集落センターまで歩いて戻る約3キロメートルのハイキングです。



(地元の谷中さんから「七つ井戸」について説明を受け、そうか…なるほど。)



七つ井戸



(楞厳寺の山門を目指して)



(楞厳寺山門)



(楞厳寺住職さんから「千手観音」について説明を受けました)



千手観音立像



(楞厳寺本堂)

- 笠間の民話「七つ井戸」は、昔、弘法大師は全国をまわって仏の道を広めていました。真夏の暑いある日、片庭の古山という所にやって来た時に農家に立ち寄り、その家のおばあさんに「水」をお願いしたところ、しばらくしてから、きれいな水の入った手桶を大師に差し出しました。おばあさんは、近くにきれいな水がないため、山で清水を汲みに行ったことを大師に話しました。大師は水のお礼に錫杖で地面を叩くとこんこんと清水が湧いてきました。その後、村のあちらこちらから清水が七か所から湧き、七つあるので「七つ井戸」と呼ぶようになりました。
  - 臨濟宗妙心寺派楞厳寺の山門は、禅宗様式の四脚門で支柱は高くのびて平三斗組(ひらみつとぐみ)で棟木を受け、控柱(ひかえばしら)も出三斗組で桁(けた)および繫虹梁(つなぎこうりょう)を受けています。柱間には扉や壁がなく、全部吹抜けとなっています。軒は、一軒繁垂木ですが、後年の補修で内法貫(うちのりぬき)、飛貫(ひぬき)、頭貫(かしらぬき)の各鼻には、それぞれ異なった繰形の木鼻を飾り、また虹梁の下には花模様付の錫杖彫が施されています。正面の山額には「竟堅門」と書かれています。
  - 楞厳寺は、宇都宮氏一族である笠間氏の菩提寺です。楞厳寺の奥には、国指定文化財「木造千手観音立像」が安置されています。本像は、頭上に十一面を戴き、高髻(こうけい)、毛筋彫(けすじぼり)、天冠台(てんかんだい)を刻み、真手(まて)、宝鉢手(ほうはつしゅ)ほか外四十臂、条帛(じょうはく)を懸け、裳をつけ両足を揃えて立っています。造りは檜材の寄木造りで、漆箔(しつぱく)を置き、玉眼嵌入(ぎよくがんかんにゅう)です。なお、光背は失われていますが、鎌倉時代の運慶派の作風がよく現れています。像の背面に「建長四年壬子七月従五位上行長門守〇〇朝〇〇」と刻銘があり、笠間城主笠間時朝の発願による造像であると解されています。また、楞厳寺は、片庭の八幡神社と同様に「ヒメハルゼミ」の生育地としても知られています。
  - ハイキング道中の「不思議おもしろ坂」について、楞厳寺山門から古山地区自治会集落センターへ向かう途中に登り坂があります。どう見ても登っているように見えますが、頂上からボールを転がすと途中で止まってしまいます。
- ※ハイキング参加された方から、「楽しかった、参考になった」とのご意見をいただきました。令和8年度も楽しい企画をいたしますので、気軽にご参加を！



(不思議おもしろ坂)は、私が名付けました。